

2023年度 第2回細胞検査士会役員会議事録

日 時：第62回日本臨床細胞学会秋期大会
2023年11月3日（金）13:55～14:55
場 所：福岡国際会議場 4階 411+412号室
出席者：【会長】阿部仁
【副会長】澁木康雄，山城篤
【幹事】青木裕志，五十嵐清子，棚田諭，阿部英二，遠藤浩之，松本慎二，
加戸伸明，横山俊朗，伊藤仁，仲村武，柿沼廣邦，内山勲，石原光浩，
大澤幸希光，河村憲一，木下勇一，小材和浩，佐々木健司，佐藤憲俊，
藤岡学，町田知久，三宅真司，新垣善孝，岩田英紘，姫路由香里，
中村純子
【監事】石井保吉，鳥居良貴
欠席者：平田哲士，河原明彦，岸本浩次，小山芳徳，田口雅子，古田則行，有田茂実，
田路英作，長友忠相，二瓶憲俊，服部学，廣井禎之，藤田勝，丸川活司
会の成立：役員45名中，31名出席，委任状提出13名で会が成立した。
議長：阿部会長が青木総務委員長を指名
議事録作成：棚田諭，新田篤，中村純子
議事録署名人：石井保吉，鳥居良貴

I. 開会

II. 会長挨拶

昨年5月からコロナが5類になり，徐々に細胞検査士の活動もコロナの前に戻りつつあります。2019年から中止されておりました細胞検査士養成講習会2週間も開催され，ワークショップなどの顕微鏡を用いた実習も活動が再開され始めております。

一方で，コロナ禍で行われましたWEBを用いた開催形式が定着し，現地に参加せず多くの参加者が認めることから，今後，座学に関してはWEB化の方向で進んでおります。また，バーチャルスライドの発展とともに，顕微鏡を用いた講習会や細胞検査士資格認定試験なども，バーチャルを用いた試験へと理事会にて議論が始められております。

このような様々な状況において，細胞検査士に関わる案件については，我々細胞検査士の意思を細胞学会理事会にしっかりと伝えていきたいと存じます。

今まで以上に細胞検査士が協力し合い，一丸となって様々な課題に取り組んでまいりたいと思いますので，役員の皆様方のお力添えをどうぞよろしくお願い申し上げます。

III. 議事録確認

1. 2023年度第1回細胞検査士会役員会議事録の確認【資料1】 議案書 P.24
議事録として成立
2. 2023年度細胞検査士会定時総会議事録【資料2】 議案書 P.30
議事録として成立

IV. 報告事項

1. 庶務委員会 議案書 P.3

(棚田庶務委員長) 物故会員の報告
(阿部会長) 物故会員に対する黙祷

2. あり方委員会【追加資料1】

(仲村あり方委員長)

2009年に細胞検査士の現状と予測についての報告が行われてから10年が経過し、今現状の細胞検査士数や年齢構成や合格者数の推移等を調べた資料を提示。

さらに各都道府県の細胞検査士の平均年齢を調べ、後日ホームページおよび会報、また細胞学会でも報告予定。

3. 国際委員会 議案書 P.5

(加戸国際委員長)

- 1) 来春2024年3月3日(日)日本・台湾・韓国細胞検査士会ジョイントミーティングが4年ぶりに台湾・台中で開催されることが決定。細胞検査士会ホームページに掲載済。3月2日(土)に台中での半日ツアー、ガラパーティー、ウエルカムパーティー、3月3日(日)は研修会後にソーシャルギャザリングディナー開催予定。
- 2) IAC試験について、顕微鏡を用いていた試験は全てWEBに変更される(IACより通達)。WEBでの試験方式についてはこれから検討される予定。
(石井監事) ASCP等もそうになっている。

V. 議案

1号議案：2024年度事業計画及びこれに伴う予算書 議案書 P.8-13 可決・承認
(五十嵐経理委員長)

予算案の金額の訂正：「収入の部」入会金、年会費口座よりの第56回の合格者予想300名の入会金と年会費が210万円、繰越金から614万3060円計上し収入合計1129万3060円に訂正。

VI. 確認・検討事項

1. 細胞検査士会報のWEB化について【資料3(別紙)】 議案書 P.14
(遠藤編集委員長)

日本臨床細胞学会理事長の岡本先生より、来年度7月発刊分より細胞検査士会会報のWEB化検討依頼があり、阿部会長からの依頼を受け編集委員会内の意見を事前に収集。メリットは、印刷時のページ組を考える必要が不要になること、全ページカラーページにできることで、来年度より会報のWEB化という方向で進める。会報発刊時の連絡方法は、日本臨床細胞学会事務局からのメール配信、各都道府県への案内とメーリングリスト配信、情報委員会からの毎月のメール配信等を検討中。WEB化による経費削減が見込まれる。また、読者を減らさないための方策として、メルマガ登録制で直接配信を委員会内では考えている。

- ・経費削減分の会費の運用方法についても検討が必要。
- ・提示資料の数字について再確認が必要。

(阿部会長)

細胞検査士会だけではなく細胞診専門医会ともにWEB化の依頼があがっている。学会運営が厳しくない範囲で節約を行う方法や会報を見る人を減らさない方法を検討していきたい。スマホやデジタルに慣れた世代の読者増加にも期待している。

2. ホームページのリニューアルについて【資料4, 5（別紙）】 議案書 P.14

（横山情報委員長）

現在のホームページは2001年に立ち上げたものであり、スマホやタブレットで見やすい形へのリニューアルの提案と株式会社トラパンツからの構成案の説明。

イメージとして日本外科学会のサイトを提示。Eラーニング、会員専用ページ等現在使っている内容で、WEB化した会報や写真等は刊行物として掲載可能で求人情報も継続可能。マイページもオプションで対応可能。

Eラーニングコンテンツイメージ「Internet Cytology」を提示し説明。研修会等MP4で動画撮影したのも限定で個別に閲覧できるような仕組みもあり、精度保証委員会や学術委員会で行っている資料や動画も掲載可能。Eラーニングコンテンツ各種機能のページでクイズ作成と書かれているところは、スライドカンファレンス等もできる仕組みがある。

毎年の更新は約39万円の見込みで、最初の立ち上げの時はWEBデザインの料金が200万円弱の予算を計上。

各都道府県で開催した勉強会や講習会等も共有できるようなものがあれば積極的に掲載し、都道府県とのつながりとしてもっと活発化して、情報を共有していければと考えている。

来年の4月ぐらいを見込んだ見込みで、詳細なスケジュールは未定。順次対応し、来年の春ぐらいには準備できる見込みで調整中、

- 機能が増えることに伴うサーバーの増設や容量等、維持費についても確認が必要。
- Eラーニングが何も更新されていない現状をふまえ、情報・学術・精度保証等各種委員会で協力し、コンテンツを充実させたものにしていくと会員閲覧数が期待できるようになる。
- 研修会のスライドや講演内容をいかような形で掲載していくのか、掲載許可等、今学術が進めているホームページの掲載内容の引用利用等も含めて厳密に決めていく必要がある。
- 学術や精度保証で行った研修会をアップすることにした場合は、参加費を支払って参加している会員もいるので、そのまま無料配信ではない形での方法について検討が必要。
- 来年の役員会の時には動いている見込みとなるので、現在不透明な部分についての進捗や状況は随時役員で共有。

3. 細胞診専門医の署名についてのアンケート【資料6, 7】 議案書 P.31

（仲村あり方委員長）

細胞診専門医の署名について更新時の必要性について、この春の学会の専門医セミナーで東京都の臨床細胞学会の山下会長の方からお話があり提案。更新時に、施設に専門医がいない場合の問題や、細胞検査士ができて50年経過していることをふまえてアンケートを作成。実施する場合は個人情報の問題から送られた人のメールアドレスは把握しない。

- 方法はグーグルフォーム。
- 結果は会報に掲載予定。
- 内容は自施設に専門医がいない場合等困った事案や意識調査等。

アンケート実施について承認。

アンケートの内容に関しては引き続き検討。

3. 経理委員会内規 細胞検査士会報酬などの支給及び支出基準について

【資料8】 議案書 P. 35

（五十嵐経理委員長）

第1回の役員会において4項の講師料等の金額の検討を持ち帰り事項として引き継ぎ、現行での直近の細胞検査士会と細胞学会の講師料について報告。前は一律2万円で意見が一致していたが、現状のままの講師料での再検討の依頼。

(阿部会長)

赤字は学会の方でも避けたいので、基本的には数万余りになる予算を組むことも考えながら決定していただきたい。

- ・細胞検査士教育セミナーも基本的に講師料が一緒になっているので、細胞学会と一緒になのであれば検査士会も同じ金額でもいい。
- ・学術は、技師が倍になると技師の割合が多いので、講師料が倍になると予算組が厳しい。
- ・お金のことなので慎重に進めていく方がよい。

現行の講師料継続で引き続き継続審議。

5. 2025年-2026年度の役員選挙の実施要項について 議案書 P.16

(青木総務委員長)

今回と同じ選挙を想定したスケジュールで、日程のみ変更。引き続き、次回の役員選挙の準備のスケジュールを組んでいく。

6. その他

1) 選挙の方法について (阿部会長)

WEBの選挙は導入する。

選挙人に関しては従来どおり各都道府県で選出し、その選挙人の方にWEB投票権を与え、幹事の選挙を行う。なおかつ、会長・副会長選も、幹事の投票によってWEB選挙をやっていきたい。今回は、幹事と会長・副会長に関してはWEB選挙を行うだけで、全会員を対象とすることに関しては、今後様子を見ながら検討。

正会員と準会員に関しては、来年の選挙に関しても正会員を対象として選挙を行う。

細胞学会の理事会の選挙は、理事会の評議員を決め、評議員がWEB選挙で理事を選出しているため、それと類似した形で選挙を行っていく方針。

2) セミナー等のWEB参加時の制約について (石井監事)

セミナー等のWEB視聴参加承認の条件について、席を何分離れたら参加にならない等の制約が多すぎる、子供がいると難しい場合もあり細かすぎるのではないかというクレームがあがっている。